

全矢崎労働組合天竜支部の「セグメント運動」浜北支店



編

全矢崎労働組合天竜支部では、組合員の資金需要に応えるため、従来のチラシ配布や回覧形式から、ちょっと工夫した取組を行っているとお聞きしました。…ということで、今回は明石支部執行委員長にお伺いしました。

Check!



※セグメントとは… 部分・階層・区別・区分と訳され、マーケティングなどで対象者の年齢・性別・職業等の属性情報によって行われる区分のことを言います。



Q まず、知らせる活動で工夫しようとしたキッカケは何ですか？

例年、卒業や進学シーズンが近づくと、教育ローンやオートローンのチラシを配布していましたが、組合員も他の資料と一緒に受け取ることで、情報が紛れてしまうことがありました。

Q そこで今回どのような工夫を？

組合書記局では組合員の家族構成を把握しています。そこで、この情報を活かし、セグメントした取組ができないか考えました。

Q 具体的にどのようなことを？

今回は、時節の取組として高校3年生を抱える組合員へ、ろうきん「教育ローンみらい」「オートローン」によりみち相談会のチラシを、私は永支店長の連名でのコメントと一緒に封入し、直接手渡すことにしました。また、家族情報には大学生や専門学生の情報もあり、併せて渡すことで資金需要に対する教宣ができたと思います。



OK!



Q 今後、どのようなセグメントをお考えですか？

消費税増税を考えると、現在、借家住まいの組合員へ、住宅セミナーの案内やろうきん住宅ローンなどを紹介したいと考えています。これまで、組合書記局が保有していた情報を活用していなかったため、これからは全組合員への教宣とセグメントした教宣のダブル運動を考えていきます。

Q 組合員の反応はどうですか？

今回、初めての試みでしたが、組合員へ直接手渡すことで、子供の話題や進学・就職の話題に発展し、良いコミュニケーションツールにもなりました。